発展性・柔軟性をもつ運営システムの構築

「市民の生活に役立つ図書館をめざして」

名古屋市図書館は今後の図書館運営の方向性を明らかにするために、「市民の生活に役立つ図書館をめざして(平成20年6月)」を策定しました。市民ひとりひとりに利用しやすい環境を整備し、「市民の生活に役立つ」図書館の実現をめざします。

アーカイブ

過去・現在・未来をつなぐ図書館

生涯学習に役立つ市民の書斎

*多様な資料・情報の収集に努めます *使いやすく分かりやすいツールの作成を進めます。

郷土の歴史・文化の発展・継承

*インターネット上にのみ公表される資料・情報を含めた、尾張・名古屋・愛知県に関する資

料・情報の収集・保存提供に努めます

*貴重資料の電子化およびマイクロフィルム化を進めます。

ナビゲーション

市民と資料・情報をつなぐ図書館

誰もが利用しやすい図書館づくり

*ライフサイクルやサービスの利用に応じた図書館サービスを充実します。

*インターネットを活用したサービスを充実します。

快適な空間づくり

*図書館施設の改築・改修を計画的に進めます。

課題解決に役立つ知恵袋

*図書館の活用法を広めていきます。*レファレンスの窓口を設置します。

*行政支援の窓口の設置を検討します。

暮らし・仕事に役立つ情報の発信

*暮らし・仕事に役立つ情報を発信します。*情報リテラシー講座を開催します。

読書・図書館の魅力を伝える活動

*名古屋市子ども読書活動推進計画を実施します。*大人向けの事業を充実します。

ネットワーク

市民・地域社会をつなぐ図書館

名古屋の知恵の環の構築

*資料所在情報・相談窓口情報のワンストップサービスをめざします。

市民・地域社会との協働

*市民とのパートナーシップによる図書館事業を展開します。